

授業科目名・形態	ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	海老澤 圭視	実務経験の有無	無	開講期	3年前期

【授業の主題】

ソーシャルワークの基本事項（構成要素、展開過程および基本的視点）を確認し、それを踏まえて、ソーシャルワーク実践に必要な援助関係の形成技法や面接技術を学ぶ。これらの基本的な技法・技術に加えて、グループワーク（集団援助技術）、ケアマネジメント、そして、家族支援等の支援についても理解を深める。

【到達目標】

以下の項目について、実践的に理解することができる。

1. 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの概要
2. 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの過程
3. 精神保健福祉分野における家族支援の実際
4. 個別支援からソーシャルアクションへの展開

【授業計画・内容】

- 第1回 オリエンテーション・授業の進め方の説明
- 第2回 ソーシャルワークの構成要素：ソーシャルワークにおける原則、知、実践等（1）
- 第3回 ソーシャルワークの構成要素：ソーシャルワークにおける原則、知、実践等（2）
- 第4回 ソーシャルワークの展開過程：ケース発見からアフターケアまで
- 第5回 精神保健福祉分野のソーシャルワークの基本視点：人と環境の相互作用を中心に（1）
- 第6回 精神保健福祉分野のソーシャルワークの基本視点：人と環境の相互作用を中心に（2）
- 第7回 ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの展開
- 第8回 援助関係の形成技法：バイステックの7原則を中心に
- 第9回 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの展開技法：インテーク、アセスメントおよびアウトリーチ
- 第10回 面接技術とその応用
- 第11回 グループワーク（集団援助技術）：グループワークの歴史、概念、意義そして方法
- 第12回 支援の展開（ケアマネジメント）：ストレングスモデルに基づくケアマネジメント
- 第13回 精神障害者家族の課題：そのニーズと支援
- 第14回 家族理解の変遷：家族病因論からアルコール依存症の家族研究まで
- 第15回 家族支援の方法

【授業実施方法】

講義形式で行う。レジュメを配布し、パワーポイントを用い、授業展開する。また、適宜、新聞記事や映像資料等を適宜使用し、双方向性授業を図る。

【授業準備】

精神保健福祉士国家試験必須科目。授業計画で指定したテキストの範囲を事前に読んでおくこと。

【主な関連する科目】

精神保健福祉の原理Ⅰ・Ⅱ、ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ、精神保健福祉制度論、精神障害リハビリテーション論

【教科書等】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編：最新・精神保健福祉士養成講座 6 『ソーシャルワークの理論と方法』〔精神専門〕中央法規 2021

【参考文献】

特になし。テキスト以外で必要なものは授業で紹介する。

【成績評価方法】

成績評価は試験または期末レポート（90%）、課題提出や授業への取り組み姿勢（10%）で総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

履修学生は予習と復習を行うことで科目の理解度を深めること。なお、ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰとソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱの科目は同じテキストを使用する。